

（6）須賀利地域



1) 地域の概況

◆ 位置・環境

- ・ 須賀利地域は、熊野灘のリアス式海岸にある尾鷲湾の北、須賀利湾の最奥に位置し、須賀利湾に面して南向きの山地の山裾に扇状に広がる家並みの美しい漁業集落です。
- ・ かつて須賀利地域には陸路はなく、巡航船が唯一の交通手段でしたが、昭和 57 年に須賀利道路により陸路でつながったことにより、現在は紀北町との関係も強くなっています。現在、巡航船は廃止されています。



須賀利の集落

◆ 歴史文化

熊野灘に面した尾鷲湾口から北へ枝分かれした深い湾入の奥にあることから、風波から守られる絶好な位置と地形のせいで、江戸時代には江戸と大坂を往復する廻船の風待ちの港として栄え、かつては船宿が九軒もあったといわれています。

集落中央の高台に高宮神社の叢林、西寄りの高台に江戸初期の創建にかかる普済寺があります。普済寺の境内から低い土塀越しに見下ろすと、須賀利漁港と集落の瓦屋根の落ち着いた家並みの光景（文化的景観）が広がっています。



高宮神社と普済寺の石段

◆ 土地利用

- ・須賀利地域は都市計画区域外にあり、丹生地区の南側及び元須賀利を含む熊野灘側が、自然公園特別地域（第1～3種）に指定されています。
- ・東紀州地域に見られる代表的な漁業集落のひとつであり、狭小道路の急斜面に木造家屋が密集して立地し、集落の前面に須賀利漁港があります。



須賀利漁港

◆ 都市基盤

- ・須賀利地域の主要道路は、県道須賀利港相賀停車場線で海岸部と集落の間を通っています。

◆ 産業

- ・須賀利地域の主要産業は漁業です。かつては、伊勢エビ漁をはじめとした磯根漁業や真鯛の養殖も盛んでしたが、近年は少子高齢化、地域経済の低迷などにより、沿岸漁業が主になっています。



旧須賀利小学校

2) 地域（まち）の将来像

地域の地場産業の振興、情報発信や歴史・文化・伝統行事の継承による 快適に暮らせるまちづくり

地場産業の振興を図り、須賀利湾や周辺の山々などの豊かな自然環境や美しい集落の家並み等の観光資源の保全、整備、情報発信を図るとともに、三番叟、須賀利音頭、えびす祭等の歴史・文化・伝統行事を継承することにより集落の活力維持を図り、また、災害対策等を推進することにより、誰もが快適に暮らせるまちづくりを進めます。

3) 地域のまちづくり方針

◆ まちづくりの柱 1

地域資源の活用、歴史・文化・伝統行事の継承による集落の維持

地域の資源を活用し、情報発信することにより地場産業の振興を図るとともに、地域の歴史・文化・伝統行事を継承することによる、集落の維持、活性化を図ります。

◆ プロジェクトの方向

- ・ 漁業集落景観の活用
- ・ 漁業集落の家並みと養殖いかだの景観を楽しむ湾内観光ルートの検討
- ・ 漁業の振興と連動した観光資源の活用と情報発信
- ・ 地域の祭り「三番叟」等の継承

◆ まちづくりの柱 2

安心で快適に暮らせるまちづくりの促進

尾鷲市中心部へのアクセスが不利な状況であるため、住民の利便性に考慮した公共交通システムを検討することにより、安心で快適に暮らせるまちづくりを進めます。

◆ プロジェクトの方向

- ・ オンデマンドバス等の公共交通システムの検討

◆ まちづくりの柱 3

地震、津波等の災害への対策

地震や津波等の災害に対して、避難場所の確保や高台への避難路の整備を図るとともに、自主防災体制の充実を図るための人材確保や育成を推進し、災害に強いまちづくりを進めます。

◆ プロジェクトの方向

- ・ 避難場所の整備や誰もが安全に避難できる避難路の整備
- ・ 人材確保、育成による自主防災体制の充実

◆ まちづくりの柱 4

公共施設や空き家の活用による集落の維持

旧小学校校舎及び校庭の地域活動での利用の可能性の検討や空き家の活用の促進、所有者に対する適切な管理の必要性の啓発を図り、良好なコミュニティの維持、集落環境の保全を進めます。

◆ プロジェクトの方向

- ・ 公共施設の有効活用の検討
- ・ 空き家の有効活用の検討、促進

◆ 須賀利地域 のまちづくり方針

地域（まち）の将来像		地域の地場産業の振興、情報発信や歴史・文化・伝統行事の継承による快適に暮らせるまちづくり	
地域づくりの方針			
まちづくりの柱 1	地域資源の活用、歴史・文化・伝統行事の継承による集落の維持	まちづくりの柱 2	安心して快適に暮らせるまちづくりの促進
まちづくりの柱 3	地震、津波等の災害への対策	まちづくりの柱 4	公共施設や空き家の活用による集落の維持
プロジェクトの方向			



